

会報

国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

123号
2020年8月15日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局
千葉市中央区要町2-8 DCC会館内
TEL 043-222-7207
nationwidemovement@yahoo.co.jp

闘う労働運動の再生を

全国運動発足から10年の節目の集会



東京・江戸川区総合文化センターで7月26日、国鉄闘争全国運動の7・26全国集会が開催された。新型コロナウイルスの影響で集まりも難しい状況だったが730人が集まり、国鉄闘争と関生支援を軸に労働運動の再生を目指す決意を新たに示した。呼びかけ人を中心に集会発言を紹介し（文責=事務局）。

全国運動発足から10年の闘い

金元重



国鉄闘争全国運動は「新自由主義攻撃の対抗軸となる新しい労働運動を展望し」ということで国鉄分割・民営化に反対、1047名解雇撤回に向けた全国運動という形でスタートしました。

2010年4月のいわゆる政治和解で与党3党と公明党、政府が合意した「国鉄1047名問題の解決案」を、国労など4者4団体が受け入れて、国鉄分割・民営化以来20数年の闘争の

旗が下ろされたのが、全国運動発足のきっかけでした。

国家的不当労働行為を不問に付したまま「人道的解決」の名目で政治決着をした。その結果、解雇も国鉄分割・民営化も認め、国鉄改革法も「JRに法的責任なし」という肝心なところを認めませんでした。

それに対して「分割・民営化反対闘争をこういう形で終わらせていいのか」「国鉄闘争の火を消してはならない」という訴えのもとに立ち上げたのが国

鉄闘争全国運動でした。この呼びかけに応じて全国各地に無数の共闘組織・支援組織が生まれました。

「国鉄闘争全国運動入会のご案内」を見ますと、北海道から沖縄、九州に至るまで全国各地の共闘組織を結成することを訴えました。2番目には、闘争と解雇者の支援のために1億円基金が訴えられています。

3番目が裁判闘争など、国鉄運輸機構旧国鉄、JR各社に解雇撤回に向けた抗議闘争・申し入れとともに、鉄道運輸機構への裁判闘争を支援すると書かれています。

全国運動は新自由主義に対して対抗軸となる労働組合の復興、再生を目指す大きな展望のもとに闘って来ますから、具体的な解雇撤回闘争と並んで、その時々重要な労働運動の課題を担った。3・11東日本大震災、福島原発事故に対して闘争をするのか話したことを昨日のように覚えていています。

国鉄闘争全国運動で一番大きな成果は、やはり裁判闘争だった

たと思います。この過程で、国家的な不当労働行為を暴き、それを最高裁に確定させた。先日発行したパンフレットをたどっていきますと、国家権力が隠し通そうとした真実を暴き

労働運動の原点を取り戻す

伊藤晃



全国運動発足時、私たちが考えたのは戦後の労働運動の伝統をいかにして今後の運動に引き継ぐかという問題でした。1点だけ今日は申し上げておきたい。労働委員会の問題です。60年代、日本には大衆的労働運動があ

った。それは職場に根を張り、日常的・大衆的労働運動として存在していた。資本側は、現存する労働運動を意識の中に置きながら、いかにしてこれを無力化するかに尽くしてきた。

その時代に労使間で仲裁機関として働いていたのが労働委員会です。仲裁機関として、いざというときには資本側の立場に立つが、一応、社会に安定をもたらす任務を持っているという

出す過程は、まるでミステリーを見ているようなドラマチックな内容なんです。こういふ成果、歴史をこれからの闘争のための宣伝の武器としてぜひ駆使していただきたい。

ところがいま日本には、自ら大衆運動を持ち、自ら首尾一貫して法を解釈し、そこに労使の関係を見だし、それをもち労働委員会に乗り込んでいくような労働運動は本当に少なくなりました。

新自由主義の現在、誰が見ても資本の側に違法があるのが認められるような事件は無数にあり、今でも労働委員会はある程度働かざるは、われわれも

て、真実を明らかにすることができれば、必ず勝利します。葛西敬之らは、設立委員会委員長・斎藤英四郎と共謀して、不当労働行為であるところの不当労働行為を勝手に作って、採用採用基準を勝手に作って、採用候補者名簿から削り落とし、そして採用基準を設立委員会会議で決定する手口で、活動家組合員をJRから排除したので

真相隠しの壁をぶち破り勝利

葉山岳夫



千葉県労働委員会は証人調べを拒否し審問を違法に拒否した村上典子公益委員に対する忌避却下決定の取り消しを要求する訴訟の継続中にもかかわらず、不当労働行為申し立てを却下しました。これに対する中労委への再審申し立てを、中労委は調査期日を一切開くことなく、却下・棄却決定を出しました。

中労委は、4党合意による支

配介入の不当労働行為救済申し立てに対して調査期日を聞くことなく申し立てを却下した前科があります。いずれも国鉄分割・民営化、1047名事件に限っては門前払いなのです。

中労委も千葉県労委も、ひとつ「JR東日本、自民党政権に法的責任がある」と主張するや否や拒絶反応を起こして、労働者の団結権擁護という本来の

使命をかなぐり捨てて、門前払いを食らわせて真相究明を妨害しました。付度どころか安倍と一体です。

この真相隠しの壁をぶち破

必ず勝利します。しかしながら、通り一遍の裁判闘争では勝利できません。東京地裁を包囲する裁判闘争への参加と、あらゆる方面の運動の拡大・発展によって、隠蔽された真実を立証することができます。

連帯労組関西生コン支部弾圧との闘いと、中労委、JR東との闘いは不可分一体です。安倍はコロナ情勢を緊急事態として改憲攻撃に利用しようとしています。関生弾圧粉砕、安倍打倒、改憲阻止の闘いとこの裁判闘争は不可分一体の闘いです。

われわれの闘う意思は1ミリも譲れない

動労千葉争議団

中村仁

新自由主義は、そして民営化・外注化・労働者の非正規化は悪だったことをコロナ情勢が暴き出した。地道だけども地に根を張った日々の活動こそが労働運動の弾圧に屈しない闘いを広げていく。怒りの手ごたえがそこにある。それに労働運動復権の息吹を吹き込む。われわれが責任をとって立ち向かう。

11月集会で私は「福島県の絶望を希望にして、絶望を労働者の力で希望に変えよう」と訴えまじった。コロナ情勢下で、解雇、過酷な労働、しかたないの絶望も、われわれ労働者の団結の力で希望に変える。

団、そして闘う労働者は一緒に先頭に立ちましよう。絶対この社会を変えられる。われわれの力でこの闘いを広めていきたい。皆さんと一緒に闘います。

しよ。中曾根総理をはじめすべて国家が隠蔽してきました。いつ、どこで、何を、どういふふうにしたのか、なかなか分りにくい。

しかし、追いつめられているのはやつらだ。われわれの闘う意思は1ミリも譲れません。私たちは人生をかけて、断固として勝利するまで闘うことを宣言します。

分利・民営化の時に「赤字だから」と言った。赤字になってますか？ 30年たつても赤字にならない会社が存在しているんですか？ みんなの税金、三島基金を、JR九州はそのまま丸もうけですよ。「三島基金を返すくらいなら株上場しない」と国が金を渡すくらい。そんな会

社が許されているのか。延々とこれから生き延びさせるのかどうなのか。労働者の怒りの決起にかかっている。どんなに小さくても反対の声

を上げる組合がある限り、私たちは解雇撤回はもとより、JRを国鉄に戻すまで、しつこく闘いぬきたい。

小玉忠憲

動労総連合1047協議会



1987年の国鉄分割・民営化によって国鉄労働者約20万人が転職・退職を強要されました。JRの新会社に採用を希望したうち7628人に不採用通告。閣議決定で決めた本州3社の定員割れにもかかわらず、理由もなくわれわれをJR選別不採用を強制した過程でした。それから33年になりますが、私たちは断固として闘いを継続します。

この過程で何があつたんで

いまJR九州がどういう状況にあるのか。福岡空港の国際線は閉鎖です。九州は外国からの爆買いツアーで何とかしのいできた。落ち込みは半端ない。その上、一昨年は福岡、昨年は佐賀、今年は熊本、毎年、豪雨被害に見舞われている。



この被害の矛先はどこに行くのか。労働者に行く。JR九州は間違いなく大合理化をやります。無人運転をやらうとし

て、権力の横暴を許さないことを実証できた、大きな成果だと思います。全員がそろった。いろんな保釈条件もあるんですが、ここから弾圧粉砕の闘いになります。関生支援の会が全国に広がるなか、大きな成果も現れています。労働委員会では4つの勝利命令、不当解雇処分には組合側の勝利命令が出る大きな成果もあります。

関生のような産業別労組を

木下武夫

私は関生支援東京の会の共同代表ですが、現在も肩書きは「業種別職種別ユニオン運動研究会」です。武委員長は「関生の運動を全国化したい」と受けて、関生運動を「業種別職種別ユニオン」と捉え返し、運動を紹介している。

1週間くらい前に武委員長から研究会に直筆の手紙が来ました。「数年で関西生コンを立て直すので安心ください」というものです。

関西生コンがなぜ弾圧されたのか、そして国鉄闘争と絡めまじって、どのように弾圧反対運動を据えればいいのか、二つに限ってお話したい。

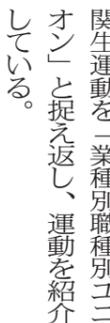
関西生コンの弾圧はこれで3回目です。82年、05年、そして18年です。こんなに弾圧されるのは、弾圧後にまた起き上がった

ているということなんです。武委員長が「数年で」と言ったのは、過去の確信があるからで単なる強がりではありません。

なぜそんなに弾圧されるのか。第1次弾圧の中心は大槻文平で79年に日経連の会長になっています。その前は、セメント工業会の会長です。「関西生コンの運動は箱根の山を越えさせない」「資本主義の根幹に関わるものだ」と発言した人物です。

またセメント工業会の会長として関西生コンの運動に我慢ならないと思つたに違いない。当時、関西生コン支部の賃金水準は、トラック運転手より10万円は相場が高かった。年収にして

520万円くらい。いま関西生コンの運転手の年収は800万円、年120日は休日です。こういうものを勝ち取つてきた。実に腹立たしいと思つたに違いない。



企業別労働組合と産業別労働組合の大きな違いは、労働条件を企業の中で決めるのか、あるいは企業の外で個別の資本のあざかり知らないところで決めてしまふのか。ここに大きな違いがあります。

企業の外で決めるということ、関西生コンは集団交渉で実現し始めた。資本主義社会です。これに対する反撃が始まっています。英国のコービン

労働党元党首が公約したのは再公営化です。若者を中心として大々的に支持され、今年1月に英北部の鉄道を再公営化した。

いま30年たった日本でも、新自由主義の改革は人ひとりの生活と健康、保育、育児、介護、教育、医療、そして公共交通をずたずたにしている。

結論ですけれど、関西生コンの闘いを、新自由主義が攻撃した闘う産業別労働組合を擁護し、新たに闘う労働組合をつくること、反新自由主義の闘いの中で再公営化の大きな流れの中に福祉も国鉄も入れながら、関生弾圧と国鉄の闘いを結合し、大きなうねりをつくりあげたい。

いずれにしても当事者として全員がそろつた中で無罪判決を勝ち取るために全力で闘います。最終的には法廷闘争で決着ではなく、大衆行動で決着をつけたい。ともに闘いましょう。

大衆闘争で決着をつけたい

関西生コン支部

仲間みなさんの現場の闘いに敬意を表します。2018年からの関西生コン支部への弾圧に對して、物心両面にわたるご支援、本当にありがとうございます。心から感謝します。

皆さんのご支援と現場での抗議行動のおかげで5月31日には武委員長、翌6月初めには湯川副委員長を1年9カ月の勾留を経て奪還できました。全国の仲間のご支援と現場抗議行動によ

「組合事務所」に立ち入つてはならない」「関生の組合員とは接触してはならない」など、労働組合活動を許さないような保釈条件をつけられています。これについても国に対して損害賠償請求を提起します。

経営側が権力と一体となって仕掛けてきた弾圧で一番被害を受けているのは生コン業界の運転手さんたちです。労働条件が悪くなり、賃金も上がらなくなつた。組織を拡大してしっかりと闘っていく。